

地元材を生かし、発電事業を基軸とした 地域経済圏の確立を目指す

愛媛県^{うちこちょう}内子町（内子バイオマス発電合同会社）

【経緯】

- 内子町はバイオマスタウン構想を策定し、バイオマスの総合的な利活用を推進
- ドイツの姉妹都市・ローテンブルクの「森のプロジェクト」がヒントに！

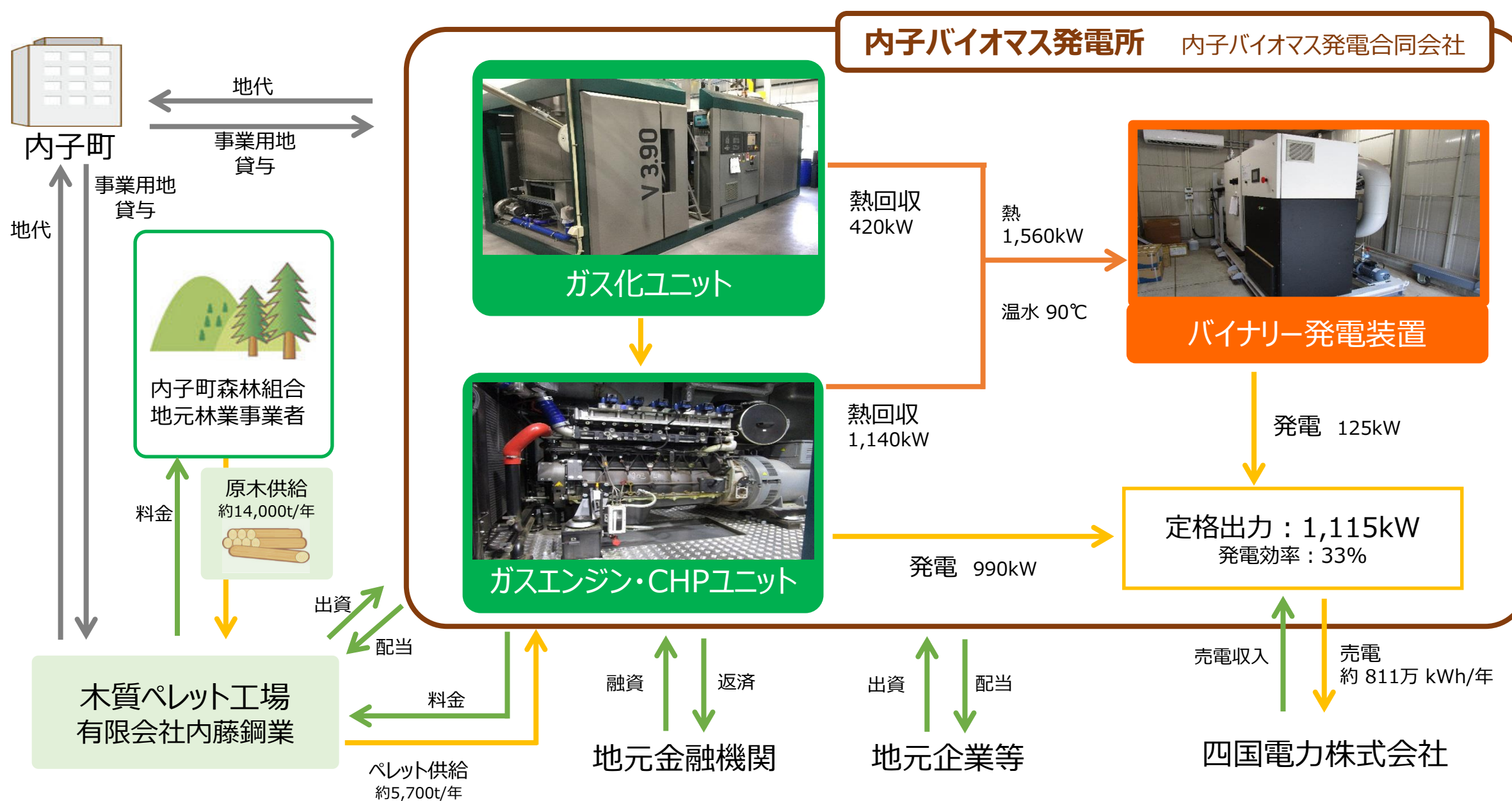
【取組】

- 農山漁村再エネ法を活用し、地域の関係者の主体的な取組を推進
- 町が環境条件の整った事業用地を貸与

【効果】

- 低質材も買い取ることで森林整備の推進や林業の活性化に寄与
- 基本計画等を町HPへ掲載、再エネ事業に向けて町内の気運を醸成

事業スキーム



ポイント① 発電所が地域の林地残材等由来の木質ペレット需要を創出し、林業を活性化

ポイント② 発電時に発生した熱をバイナリー発電機で電力として回収することで、高い発電効率を実現

ポイント③ 「地域資源バイオマス発電設備」の証明により電気の出力制御ルールの優遇を受け、安定した地域資源の活用

<今後の展開>

- 発電所から排出される炭化物を加工し、肥料や林道整備用の石板として再利用
- 木を再エネとして活用できる仕組みを整え、中山間地域活性化の「内子モデル」としての情報発信



じゃばら

【内子町の概要】人口：1万6千人（令和元年9月末現在）

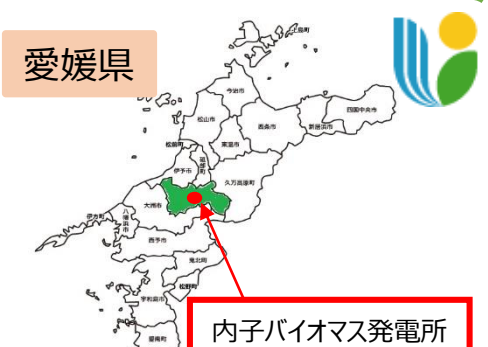
基幹産業：農業、林業

特産品：柿、栗、ぶどう、桃、じゃばら

【発電所の概要】

所在地：愛媛県喜多郡内子町寺村2478番地1

発電出力：1,115kW（発電量：約811万kW/年）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



お問合せ先：有限会社 内藤鋼業

TEL 0893-44-3063